



### 資産運用こぼれ話 なぜ資産形成に株式投資が必要か

寄稿：岡本 和久

リタイア後のための資産形成をする際、投資目的は「購買力の維持＋アルファ」です。資産形成は毎月、積立投資を行い、資産を増やしていくのですが物価水準並みのリターンを得るだけでは足りないのです。例えば一念発起して給料が100の人が70を今の生活に使い、30を将来のために運用したとしましょう。



そして数十年が経ちました。その間に物価が倍になったとします。そうすると、将来のためにとっておいた30の実質価値は15になってしまいます。では、物価水準並みに資産が増えていったらどうでしょう。確かに資金の価値は倍になっています。お金の購買力は維持できます。しかし、生活のレベルとしては就業中の生活費70に対し、30で生活しなければならないのです。相当の高給取りならいざしらず、多くの方にとってこれは相当の生活水準の低下です。それゆえに物価上昇を上回るリターンを獲得していかなければならないのです。

世界の経済成長は世界中の民間企業が実現しています。政府の役割は民間企業が活動しやすいように環境を整えることあります。要するに民間企業が毎年、生み出している付加価値が世界の経済成長なのです。ですから長い目で見れば世界の経済と民間企業の収益はほぼ似たような動きをしているのです。

世界経済の成長は数量の成長と価格の成長から構成されます。世の中で消費される数量が3%増え、価格が2%上昇したならトータルの成長は $1.03 \times 1.02 = 1.0506$ ですから5.06%の成長ということになります。世界経済の成長率と企業の収益の成長率がほぼ同じであるとすれば、企業の成長率も数量の増加と価格の上昇要因で構成されていることになります。

株価の動きは短期的には目まぐるしいものがありますが、長期的には企業の価値に沿って変動をしています。企業の価値は毎年の企業活動の結果、積み上げられていく株主資本です。株式を保有するということは株主資本を保有するということです。ですから株式を保有する結果として企業



## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

の数量成長と価格の上昇の両方を享受できることになります。これが株式に投資すると「購買力の維持+アルファ」を達成できる理由です。

もちろん、たった一つの企業を保有しているだけだと不幸にしてその企業が倒産することだってあるかもしれません。しかし、世界中の多くの企業をまとめて持っていれば全部が破綻することはないでしょう。また、一時的に多くの企業が不況の影響を受けることだってあります。確かにリーマンショックの後のように世界経済全体が停滞することもあります。しかし、長期的に見れば不況はいつも一時的で、長い趨勢では経済も企業価値も成長をしています。ここになぜ分散投資と長期投資が必要かという理由があります。

我々の毎日の生活は今や世界中の企業によって支えられています。それらをまとめて保有すれば、世界経済の数量成長と価格の上昇の両方を享受できることになります。全世界の株式に分散するインデックス・ファンドを何十年にもわたって積立投資をするというのはもっとも簡単にそして安心して「購買力の維持+アルファ」を実現する方法なのです。